

## 変更の内容

- ・万博での運行を踏まえた目標の整理
- ・路線バスでの自動運転に関する記載の追加

## 記載更新部分

### ■大阪の自動運転に関する将来の目標

#### 旧 ○高速道路を活かした社会課題への対応

- ・安全安心で持続可能な公共交通のシステムの構築（ドライバー不足、運行経費削減、運行サービスの向上、交通事故削減、災害発生時の対応などの課題の解決）
- ・高齢化社会へ対応したモビリティの確保（ユニバーサルデザインへの対応など）

#### 新 ○高速道路や路線バスネットワークを活かした社会課題への対応

- ・安全安心で持続可能な公共交通のシステムの構築に向けた、ドライバー不足解消、運行経費削減、運行サービスの向上、交通事故削減、災害発生時の対応などの課題を解決
- ・超高齢社会へ対応したモビリティの確保（ユニバーサルデザインへの対応など）

#### （1ページ目 中段）

旧 国際競争力強化につながる移動サービスの提供や社会課題への対応のために、新たな公共交通ネットワークを形成する交通手段の一つとして、自動運転バスの必要性は高まる

新 国際競争力強化につながる移動サービスの提供やドライバー不足等の社会課題への対応のために、新たな公共交通ネットワークを形成する交通手段の一つとして、自動運転バスの必要性は高まることから、公共交通ネットワークでの自動運転バスの社会実装を目指す。

#### （1ページ目 下段）

旧 ■自動運転技術がもたらす大阪の将来モデル

新 ■自動運転技術がもたらす大阪の将来モデル  
【高速道路ネットワーク】

## 新規追加部分

■自動運転技術がもたらす大阪の将来モデル  
【路線バスネットワーク】